

御前山ビオトープ通信

平成25年5月20日

第41号

発行：御前山ダム環境センター

編集：NPO「美しい田園21」清野

メール：denen21@hb.tp1.jp

ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



【案内図】



目次

- 1、TOTO ウォシュレットテクノ茨城工場の来訪
- 2、御前山ビオトープ田んぼの田植え
- 3、花王森づくり助成金贈呈式

1、TOTO ウォシュレットテクノ茨城工場の来訪

4月20日(土)TOTO ウォシュレットテクノ茨城工場の皆さんが御前山へ体験で訪問しました。工場長以下60数名は自家用車とバスで、集合場所であるダム管理所駐車場に到着しました。

小さな子供連れの家族もいて、興味深々の様子。さっそく歓迎の挨拶と作業内容の説明を受けたあと、自家用車に分乗してダム湖対岸の広場に異動しました。

事前に重機で植栽場所の準備をしてあったので、めいめいに分かれて作業を開始し、約50本のヤマサクラの苗木を植栽しました。ちょうどワラビ、ゼンマイなどの山菜が顔を出し、熱心に採集する人や、初めて山菜を見たという人もいました。

一時間くらいで作業は終わり、横断幕を広げて皆で記念写真です。

ダム管理所駐車場へ異動して、国営事業所からダムの概要説明があり、堤体へ案内してもらいました。

その後、ビオトープへ移動し、二班に分かれて希少植物などの説明と案内を受けました。

ほとんどの人は初めてみる山野草で現物に感心した模様です。ただ、野草によって花の季節なども違い、まったく姿の見えない種もあり、またの来訪を期待するところです。

ちょうど、地元婦人の山菜料理が出来上がり、賑やかに昼食が始まりました。タラの芽、コシアブラ、サンショ、ユキワリソウ等の様々な山野草のてんぷらがふるまわれて感激でした。少し寒い天候だったのでスイトンも暖まりました。



2、御前山ビオトープ田んぼの田植え

5月9日（木）ビオトープ田んぼにおいて、恒例の御前山小学校5年生による田植えが行われました。午前9時半には御前山小学校5年生、35名と先生方が到着しました。

那珂川沿岸農業水利事業所長ほか10名の方々と準備した田んぼでの田植え、ボランティアによる周辺整備を実施しました。子供たちはぬかるみに足を取られながらも、松山集落のプロ農家の丁寧なアドバイスを受け田植えを完了しました。

田植えが終わった午前10時半から昆虫博士 広瀬誠先生によるビオトープに生息している生物のお話を聞きました。

今年の御前山ビオトープは花盛りで、フジ、ヤマブキソウ、ヒイラギソウ、ニホンサクラソウ、クマガイソウ、エビネラン、ミツガシワが見られました。

子供たちは田んぼや脇を流れる沢で採集できた、アカハライモリ、ツチガエル、ホトケドジョウ、イトトンボ、ヤゴ等、虫や小動物に大はしゃぎで、広瀬先生との話も大盛り上がりでした。

参加者全体で73名、有意義な楽校になりました！当日は好天に恵まれ、ビオトープの空気と水と緑は参加者の心と体を癒してくれました。



3、花王森づくり助成金贈呈式

5月14日（火）午後2時半から東京の茅場町にある花王本社において、花王助成金の贈呈式と発表会が行われ、長山会長と清野顧問が出席しました。

花王と（財）都市緑化機構の共催で、主催者の挨拶のあと各団体から取り組み内容などについて、スライド等を使いながら発表が行われました。御前山ダム環境センターは15団体中4番目



で、清野顧問がスライドを使用しながらプレゼンを行いました。

その後、長山会長に助成金の目録手渡し、記念撮影、交流会が行われました。

全国各地から様々な「森づくり」の取り組みが紹介され交流もできて、今後の御前山の活動を考える上で参考となり有意義なイベントでした。